

第六次総合計画 施策評価シート(令和2年度)

4-10

施策

高齢者の出会う場・学びの場・活躍の場を充実する

担当部局

保健福祉局, 文化産業局

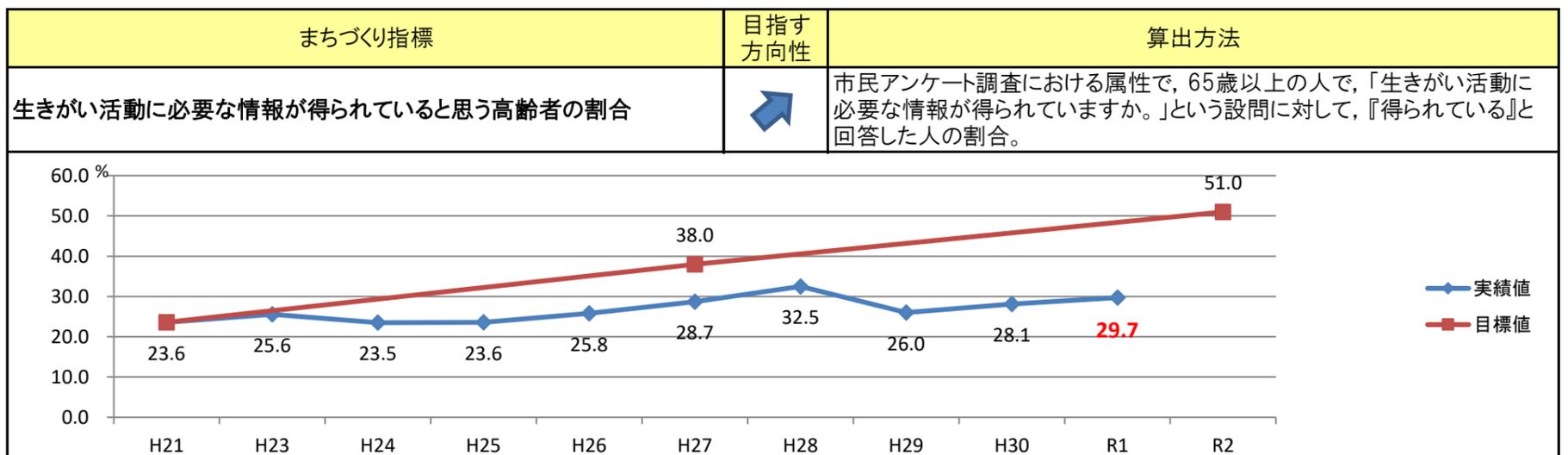
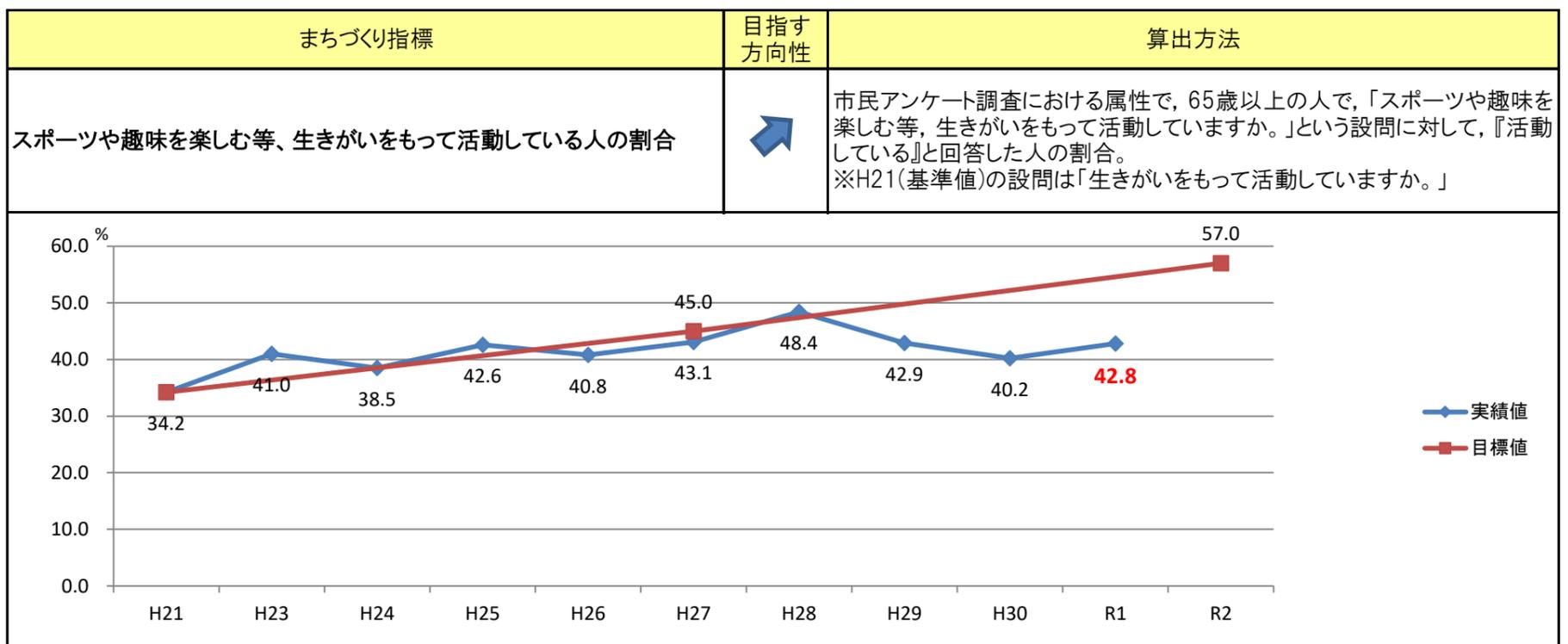


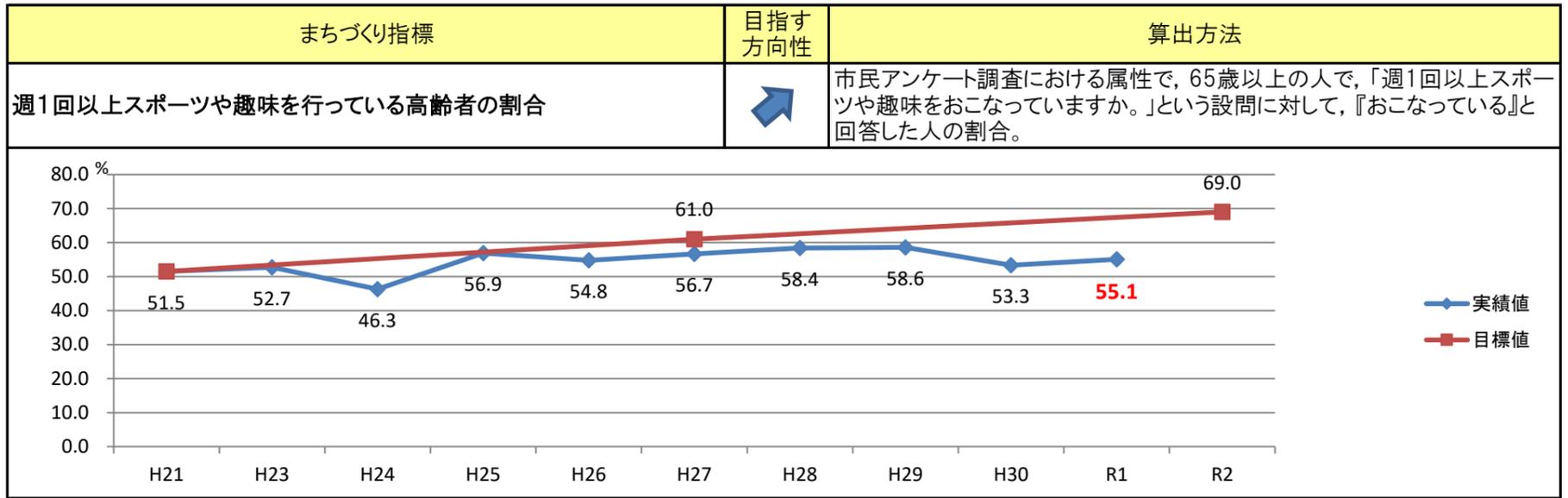
【共生】 めざまちの姿 高齢者が生きがいをもって活動している

市の基本方針

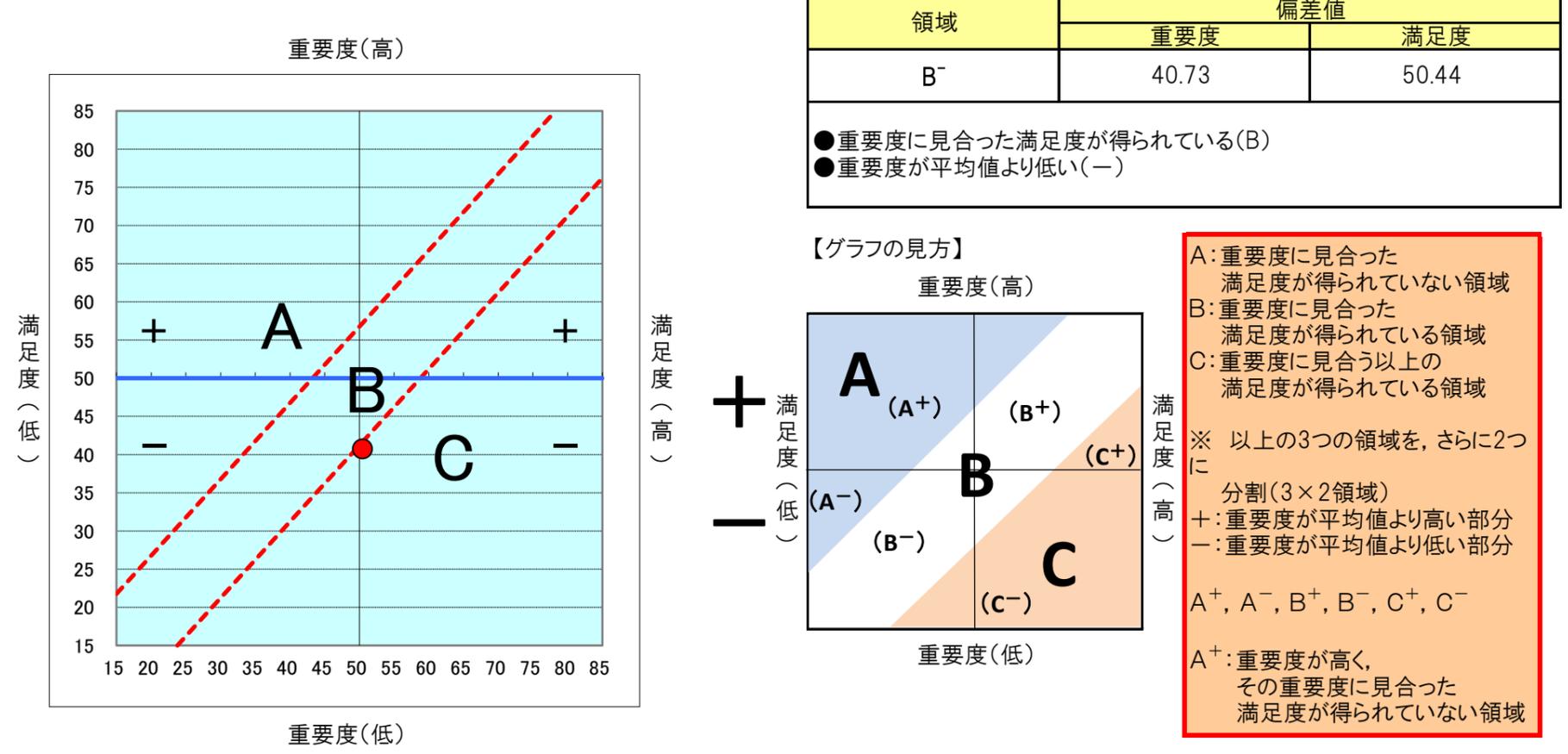
- 高齢者の孤独感や閉じこもりを解消していくため、高齢者が気軽に集い、仲間との出会い、交流の機会や異世代との交流が図られるよう、ふれあいの場の創出に努めます。
- 高齢者の学びに対するニーズを把握した学習機会の充実や、高齢者が主体的に講座の企画立案に携わることができるよう情報を提供し、支援します。
- 社会活動や地域活動、就業活動への参加を促進し、高齢者の活躍の場を広げる取組を充実します。

数値目標





市民の重要度・満足度(R2.5アンケート調査結果)



施策を推進する主な事業の評価

区分	事業名	目的(I) / 令和元年度の主な実績(II) / 今後の方向性(III)	R1年度決算額(千円)
	シルバー人材センター運営事業	(I) 市内の60歳以上の高齢者の雇用・就業を支えるための拠点となる倉敷市シルバー人材センターの安定的な事業運営を目的として、補助金を交付した。また、企業等の人手不足分野や介護、育児等の現役世代を支える分野について、高齢者に就業機会を提供するため、高齢者活用・現役世代雇用サポート事業の補助金を交付した。(平成27年度から実施) (II) 会員数(1,529人)は前年度と比較すると増加した。契約金額(595,577千円)は減少し、受注件数(12,561件)も減少した。 (III) 継続して実施する。	36,858
	敬老記念品贈呈事業	(I) 長寿を祝福することを目的として実施した。 (II) 88歳2,433人、100歳117人に記念品を贈呈した。 (III) 継続して実施する。	20,627
	高齢者生きがい対応型サービス事業	(I) 高齢者の社会参加の促進、介護予防及び生きがいの向上を目的として実施した。 (II) 講座開講回数304回、延べ参加人数5,218人。 (III) 継続して実施する。	9,213

区分	事業名	目的(Ⅰ)／令和元年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)	R1年度 決算額 (千円)
	3世代ふれあい交流事業	(Ⅰ) 若年者の高齢者に対する理解を深めるとともに、長寿社会における高齢者の健康と生きがいを高め、介護予防を図ることを目的として実施した。 (Ⅱ) 会場数31会場、参加人数5,583人。 (Ⅲ) 継続して実施する。	1,855
	老人クラブ助成事業	(Ⅰ) 高齢者の仲間作りを促すとともに、教養の向上、健康増進及び社会奉仕などの活動により高齢者の生きがいを高め、社会参加を促進することを目的として実施した。 (Ⅱ) クラブ数369クラブ、会員数16,610人。 (Ⅲ) クラブ数及び会員数の減少がみられるため、広報活動を強化し、より効率的に実施する。	23,941
	老人福祉センター管理運営事業	(Ⅰ) 地域の高齢者に対して各種の相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与し、高齢者に健康で明るい生活を営んでもらうことを目的として実施した。 (Ⅱ) 利用者数79,956人。 (Ⅲ) 継続して実施する。	121,366
	憩の家管理運営事業	(Ⅰ) 地域の高齢者に対し、教養の向上、レクリエーション等の場を供与し、高齢者の心身の健康保持に寄与することを目的として実施した。 (Ⅱ) 利用者数329,799人。 (Ⅲ) 継続して実施する。	85,802
重 公 創	いきいきポイント推進事業(再掲)	(Ⅰ) 社会貢献による高齢者自身の介護予防を目的として実施した。 (Ⅱ) 735人のボランティア登録があり、ボランティア延べ実施時間は16,288時間であった。また、ボランティアの受入事業所は15カ所増加し、総数で359件の登録となった。 (Ⅲ) 継続して実施する。また、未登録者や活動に至っていない登録者に対し、ボランティア体験事業や受入事業所とのマッチングイベント等を開催していく。	6,734
重 公 創	ふれあいサロン活動促進事業(再掲)	(Ⅰ) 地域の公民館等でサロン活動を行うことにより、閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促進し、高齢者を地域で支えるためのネットワークを構築することを目的として実施した。 (Ⅱ) 子育て世代等の多世代との交流や体操等に毎週取り組む場合等に加算を設け、健康づくりや介護予防を推進するとともに、活動内容の充実を図った。活動サロン数は275カ所。 (Ⅲ) 継続して実施する。	9,717
重 公 創	健康いきいきサロン活動促進事業(再掲)	(Ⅰ) 医療機関及び介護事業所において、地域交流スペース等を活用し、医療や介護の専門職と地域住民が協働して運営するサロン活動を実施した。 (Ⅱ) 活動サロン数は3カ所で実施。 (Ⅲ) 事業内容の検討を行いながら、継続して実施する。	288
重 公 創	生活支援コーディネーター配置事業(再掲)	(Ⅰ) ボランティアやNPOなど地域の関係団体間の連携や調整を行う生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の社会参加や地域での支え合い活動を強化することを目的として実施した。 (Ⅱ) 社会福祉協議会に委託を行い、生活支援コーディネーターを5人配置し、全市のみならず小学校区単位での身近な地域を対象に情報発信や活動支援を行った。 (Ⅲ) 継続して地域の活動支援を行なうとともに、通いの場等の事例集を作成し、地域へ情報発信を行う。	31,632
重 公	地域支え合い推進事業(再掲)	(Ⅰ) 高齢者、障がい者、子どもといった世代、分野を越えて支え合う地域づくりを推進するため、専門機関同士の連携強化を図るとともに、専門支援機関の連携の好事例等をまとめ情報発信する。 (Ⅱ) 地域共生の視点にたった地域の支え合い活動の情報を集め、地域へ定期的に情報発信する「地域支え合い通信」を発行。 (Ⅲ) 地域共生の視点に立ち、支援機関向け研修会の開催や地域の支え合い活動の定期的な情報発信を行う。	1,384
重 公 創	地域支え合い活動啓発事業(再掲)	(Ⅰ) サロン代表者同士の情報交換やフォーラムでの意識・啓発を通して、サロン活動と地域住民の支え合いの推進を目的として実施した。 (Ⅱ) 令和元年度は市内4地区(水島・児島・玉島・真備)でサロン代表者や関係者を集めた交流会を開催し、延べ178人が参加した。また、グループワークや事例紹介等を交えた地区フォーラムを市内4地区で開催し、延べ212人が参加した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	696
重 公 創	認知症サポーター養成事業(再掲)	(Ⅰ) 認知症について、正しい知識と理解を持ち、地域の見守り等を担う認知症サポーターを養成することを目的として実施した。 (Ⅱ) 令和元年度は認知症サポーター養成講座を173回開催し、3,723人のサポーターが誕生した。 (Ⅲ) 継続して実施する。また、小学生を対象に認知症サポーターキッズ教室も継続して実施する。	1,315
公 創	高梁川流域中高年健康スポーツ推進事業(再掲)	(Ⅰ) 高梁川流域自治体の保健師が集い、情報交換及び健康づくりの企画・提案を行う検討会議を開催した。 (Ⅱ) 2回開催し、7市3町の対象すべての市町が参集して会議を実施した。(延べ参加人数26人)保健事業に関する情報交換を行い、中高年スポーツ推進事業の実施状況や今後に向けて協議を行った。 (Ⅲ) 継続して実施する。(各市町が主体的に参加できるよう運営方法を改変する)	46
公 創	くらしき健康応援事業(再掲)	(Ⅰ) 市民の健康意識の向上を目指して、様々な事業を実施し、幅広い世代に向け健康行動の実践のきっかけづくりを行うことを目的として実施した。 (Ⅱ) 健康づくりを広く学べる「くらしき健康応援講座」(89回、2,319人)、健康イベントや講座の情報をわかりやすくまとめた「くらしき健康ガイド」の発行(年2回)、骨密度や血流などの測定体験を充実(延19,835人)、健康行動や健(検)診などへの参加によりポイント付与される「くらしき健康ポイント事業」(WEB・アプリ参加者3,506人)の4つの事業を実施した。 (Ⅲ) 市内企業に従業員の健康づくりを支援する「健康経営」に活用してもらえるよう、働き盛り世代への働きかけを強化していく。	7,654
	公園等清掃委託事業(再掲)	(Ⅰ) 高齢者に公園・遊園の清掃作業を委託することにより、高齢者の社会参加促進、余暇の活用、健康の保持、生きがいの発見等高齢者福祉の増進にも資することを目的として実施した。 (Ⅱ) 市内の公園等のうち、高齢者の生きがい支援として、263カ所の公園・遊園の清掃を地域の高齢者やシルバー人材センターに委託して実施した。 (Ⅲ) 継続して実施する。	27,441